

何よりの贈り物

校長 武井 正明

卒業式の予行前の体育館。暖房の前に3年生女子が集まっている。
「あーもう卒業だね、寂しいね」「ホントに寂しい！もう校長先生の顔見ただけで泣きそうになる～」嬉しい事を言ってくれる。「でも卒業が寂しいって、素晴らしい事だよ」
こんないい子たちに恵まれて、私は本当に幸せ者だ。だから、お別れは尚更寂しい…。

予行が始まると、いよいよ式も近いという実感が増す。

「卒業証書、授与！」壇に立ち卒業生を見渡す。君たちとの二年間が、ふわっと浮かぶ。
トップバッターの彼の返事に心の中で、ヨシっ。この声は親御さんの元に必ず届くぞ。

答辞の彼も、きびきびしていて気持ちがいい。儀式に相応しい、素晴らしい所作だ。

そして卒業生と歌う吉中の校歌。私はこの校歌が大好きだ。情景が浮かんでくるこの校歌から、勇気を貰う。だから、練習から出来る限り、大きな声で歌う。当日も、大きな声で歌って、君たちの背中を押して、送り出してやりたい…。

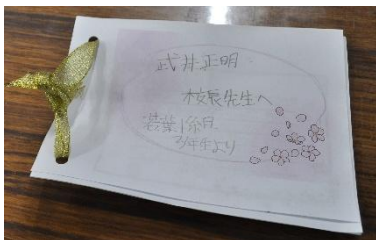
昨年卒業式から任せていただいている退場曲。今年は、生まれてきた喜びが歌詞に詰まっているこの曲で、ぜひ卒業生の背中を押して送り出したい。

～僕のでのひら つよく握った 君を守っていたい

生まれてきた 奇跡にただ 導かれながら～

最後の給食の写真を撮りに、今日は前半棟へ。やはり昨日より今日の方が名残惜しいように感じるのは、自分の気持ちがそう思わせているのか…。

そして3年生は下校。帰る前に、昨日最後の昼休みでバスケットをした彼が校長室に寄って、若葉1組ふたりからのお手紙をプレゼントしていつてくれた。



「…ぼくは吉田祭りにまいとしでているので、吉田祭りに遊びにきてください。出張のとき運転に気をつけてください」

「焼きいもをいっぱい買って来てありがとうございます。…私が作ったししゅうも『すごい』とかいって来てありがとうございます。…校長先生としたわなげが楽しかったです」

何度も読み返す…。運転、気をつけます。私も輪投げ、楽しかった…。可愛い君たちと、本当にもうお別れなんだね、寂しさしかない。